



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

改訂日 29-9-2025

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

製品コード 5190-0465

登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者

アジレント・テクノロジー株式会社
住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号
CHEMTREC®: 0800-300-5842

電子メールアドレス pdl-msds_author@agilent.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 分析化学研究所用の試薬および基準

推奨されない用途 推奨用途以外では使用しないでください

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

日本政府によるGHS分類

金属腐食性化学品	区分 1
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ない
区分2 呼吸器。	区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
区分2 呼吸器、歯。	
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 - 急性	区分に該当しない
水生環境有害性 - 慢性	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

日本政府によるGHS分類

皮膚刺激

強い眼刺激

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

金属腐食のおそれ

以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、歯。

注意書き

安全対策

- 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- 他の容器に移し替えないこと
- 保護手袋／保護衣及び保護眼鏡／保護面を着用すること

応急措置

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること

保管

- 施錠して保管すること



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

- 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること
- 廃棄
- 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学的性質 水溶液

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
硝酸	7697-37-2	1.9	既存	(1)-394	既存	(1)-394

追加情報

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

労働安全衛生法

通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3

表示対象物質

法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3

化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
硝酸	7697-37-2	表示対象物質	9-307	1.9

毒物及び劇物取締法

4. 応急措置

一般的なアドバイス

治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに石けん(鹼)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(眼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

	着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は眼を大きく広げたままにすること。受傷部をこすらないこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。灼熱感。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区域に退避させること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

衛生対策

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び作業後に手を洗うこと。適切な手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。

保管

安全な保管条件

特定の保管方法や輸送時の温度条件については、製造者証明書を参照すること。保証書内に他の指示がない限りは、もとの容器で保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。他の物質から隔離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
硝酸 7697-37-2	TWA: 2 ppm TWA: 5.2 mg/m ³	-	TWA: 2 ppm STEL: 4 ppm

Biological exposure limits

環境ばく露防止

いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。

手の保護具

使用される保護手袋はEC指令89/686/EECの仕様および関連する標準EN374に準拠している必要がある。ネオプレン™製の保護手袋を着用すること。適切な手袋を着用すること。不浸透性手袋。

眼及び／又は顔面の保護具

眼に入らないようにする。サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。薬液飛沫が生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用すること。



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。長袖の衣類。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体	
物理状態	液体	
色	無色	
臭い	無臭	
臭いのしきい値	情報なし	
特性	値	備考・方法
融点／凝固点	0 °C / 32 °F	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	100 °C / 212 °F	情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度	100 °C / 212 °F	情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log値)		情報なし
蒸気圧	23 hPa	@ 20°C
相対ガス密度		情報なし
相対密度	0.99821 g/cm ³ at 20 °C	情報なし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない
その他の情報		
爆発性	情報なし	
酸化性	情報なし	

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定。



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

避けるべき条件	長期間にわたる空気又は湿気へのばく露。
混触危険物質	酸化剤。強酸。強塩基。
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口)	99,999.00 mg/kg
ATEmix(経皮)	99,999.00 mg/kg
ATEmix(吸入-ガス)	99,999.00 ppm
ATEmix(吸入-粉じん/ミスト)	99,999.00 mg/l
ATEmix(吸入-蒸気)	139.50 mg/l

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
硝酸	-	-	= 2500 ppm (Rat) 1 h ATE (vapours) = 2.65 mg/L

略語及び頭文字

Rat: ラット

症状 発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚刺激。(成分に基づく)。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。強い眼刺激。(成分に基づく)。発赤、搔痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。強い眼刺激。



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

発がん性

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

凡例

国際がん研究機関

グループ2A - ヒトに対する発がん性がおそらくある

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 臓器の障害のおそれ。

以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長年にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

長年にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器、歯。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
硝酸 7697-37-2	-2.3

他の有害影響 情報なし。

化学名又は一般名	EU-REACH(1907/2006)-第59条(1)-高懸念物質の認可	EU-REACH(1907/2006)-内分泌かく乱作用評価対象物質	内分泌かく乱の可能性
----------	--------------------------------------	------------------------------------	------------



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

	対象候補物質リスト	リスト	
硝酸	-	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG

国連番号又はID番号 UN3264
品名(国連輸送名) その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明 UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性 8
クラス)
容器等級 III
EmS番号 F-A S-B
特別条項 223, 274

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
情報なし

ADR

国連番号又はID番号 UN3264
品名(国連輸送名) その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明 UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III, (E)
国連分類(輸送における危険有害性 8
クラス)
容器等級 III
海洋汚染物質 該当しない
特別条項 274

IATA

国連番号又はID番号 UN3264
品名(国連輸送名) その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明 UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性 8
クラス)
容器等級 III
特別条項 A3, A803
ERGコード 8L

国内規則

項目15を参照。消防法、毒劇法、高圧ガス保安法、船舶安全法、航空法に該当する場合はそれぞれの規定に従う。
日本

国連番号又はID番号 UN3264



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明	UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

特定化学物質等(特化則)

特定化学物質(第3類物質)-労働安全衛生法施行令別表第3(第6条、第9-3条、第21条、第22条関係、及び特定化学物質障害予防規則)

表示対象物質

法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3

通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。

安衛則第326条に基づく 腐食性液体

硝酸

安衛法-皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく 不浸透性の保護具等の使用義務物質

特化則等

安衛法 - 濃度基準値設定物質

タリウム: 0.02mg/m² 八時間濃度基準値

有害物ばく露作業報告

該当しない

安衛則577-2に基づく がん原性物質

該当しない

強変異原性物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

国際インベントリー

TSCA

米国インベントリー(TSCA): インベントリーに記載。40 CFR 720.36の目的上、この製品は研究開発(R&D)目的の使用に限定される。

DSL/NDSL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

IECSC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-0465 - ICP-MS Tuning Solution 10 ppm

改訂日 29-9-2025

PICCS インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
AIIC インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質インベントリー
PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日 29-9-2025
改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
Sk*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
米国環境保護庁
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシートのおわり